

令和8年度品川区連携自治体ワーケーション促進事業
【ジェットコネクト株式会社】

ワーケーション先	岩手県宮古市
日程	令和8年7月6日～8日
参加人数	2名
参加理由	当社が環境省からの委託事業に基づいて開発している、「再生可能エネルギー活用を前提とした、鉄道車両用新型駆動方式（正式名称 レトロフィット型鉄道車両用省エネ電気駆動システム）」の搭載候補路線として、岩手県宮古市を走る三陸鉄道への導入可否を検証するため。
訪問をとおして感じたワーケーション先自治体の魅力など	今回の宮古駅を拠点とした宮古市での滞在では、豊かな自然（海、山、川）と整備された震災遺構が印象的で、観光や移動において、不便さを感じることはなかった。また、自然と共生していくという姿勢を感じた。特に3日目に体験した「学ぶ防災ガイドツアー」で訪れた山王岩をはじめとする景勝地は、豊かな自然が残る一方で、震災学習と観光資源が見事に共存しており、宮古市ならではの大きな魅力だと実感した。
今回のワーケーションをとおして得た気づき	三陸鉄道について、地域インフラとしての圧倒的な重要性を再認識した。地方鉄道として日本最長である163kmにおよぶ路線は、三陸地方の沿線に点在する各集落を南北に一本で結ぶ不可欠な移動手段である。日々の通勤・通学といった生活路線としてだけでなく、観光の核としても機能しており、地域全体に活力を生み出す重要な生命線であると強く実感した。
本事業に参加した感想	品川区のワーケーション促進取り組みにとっても感謝している。今回の滞在では、豊かな自然や三陸鉄道の重要性に触れ、新たなビジネスの可能性を見出せただけでなく、豊かな環境の中で心身ともにリフレッシュすることができた。震災学習と豊かな観光資源が共存し、多くの気づきをくれた宮古市には、仕事はもちろん、プライベートも含め、ぜひ再訪したい。



三陸鉄道、宮古市役所との打合せ



学ぶ防災ガイド参加時の様